



## 我が家の防災・命をまもる (2)

### ◆火災から命をまもる◆

怖いものの例えである「じしん、かみなり、かじ、おやじは」もう昔の話？ おやじはともかく他の3つは今も最も怖いものには変わりはありません。特に「**火事**」は、人の不注意や油断で起きることが大半を占めており、最も身近でおこる災害です。

貴方の「日頃の対応」が自分や家族の命をまもることに繋がります。

#### (1) 火事をいち早く発見する為に、住宅用火災警報器を設置しましょう

- ・火災警報器は煙や熱を感知して、警報音や音声で火災発生を知らせます。**逃げ遅れ防止のため、火災警報器を設置しましょう。**また、定期的に作動確認を行い、**10年を目安に取り換え**ましょう
- ・住宅火災で死亡した人の**56.3%**が**逃げ遅れ**が原因
- ・いち早く火事に気付くことで命をまもることができて、隣家への類焼も防げる可能性が高まります
- ・火災警報器は、平成16年6月に設置が義務化されています。**(寝室への設置は必須です)**

#### (2) 火事を発見したら

- ・**大声で「火事だー火事だー」と何度も叫びましょ**う(家族や隣近所に知らせるのが重要です)
- ・急いで**119番**通報、そして初期消火(無理をしない)



#### (3) 煙から逃げる

- ・ぬれタオルを口と鼻にあて、**を地をはうように避難**する(なるべく息を止めて脱出)



#### (4) 初期消火

- ・**延焼を防ぐのが大事、火が出て2~3分が勝負**
- ・住宅用消火器であわてず落ち着いて火元に向かって
- ・消火器は、女性や老人でも扱いやすい**スプレー式**や火元に向かって**投げるだけの消火剤**もあります
- ・初期消火の成功率は**60%**、決して**無理をしない**



#### (5) 通電火災について

- ・電気ストーブや白熱電球を使ったスタンドなどは、地震による停電のあと、電気が復旧したとき、切れたと思っていた電気製品が再び作動し、これが火元となって起こるのが、通電火災です
- ・阪神大震災では、原因が特定された**建物火災の6割が、通電火災**によるもので、火元は電気ストーブや白熱スタンド、オーブントースター等でした
- ・安価な対策として3000円ぐらいで市販されている「**感震ブレーカー**」の**設置**をお勧めします
- ・感震ブレーカーは、地震を感知すると**自動的にブレーカーを落として、電気を止めます**



防災便りは、富士が丘ポータルサイトにも掲載しています。  
(<http://sanda-fujigaoka.com/> [富士が丘] で検索)

### ◆通信欄

- ・11月に入り気温も下がり暖房器具を使用する機会が増えてきます。くれぐれも「**火の用心**」をお願いします
- ・「火事」は、**不注意や油断**で起こることが多いと言われます。日ごろの備えや心がけで防ぎましょう

### ◆つぶやき◆

防災は「段取り八分」と言われます。「備えあれば憂いなし」という格言もあり日頃の小さな積み重ねが大切です。いざという時に慌てないために、まずは、災害時の連絡方法、火事や地震への備え、非常持ち出し品の準備、避難路の確認などを行っておきたいものです (m.y)

